入選

中山　花音（なかやま かのん）　由木中央小　3年生

作品名：ばあばは、だいじょうぶ

図　書：ばあばはだいじょうぶ

ばあばは、だいじょうぶというお話の主人公は、つばさくんです。つばさくんは、ばあばが大好きでした。でもばあばが「わすれてしまう」びょうきになってしまいました。

一番心にのこった所は、ばあばはわすれたくないのにわすれてしまうから、こっそりメモをして、かくしておいたところです。なぜかというとつばさくんは、メモを見て、ばあばは、わすれたくないと思っていることに気づいたからです。

そのシーンを読んで思ったことは、ばあばは、わすれたくてわすれてるわけでは、ないということです。近所の人のおにわにある、花をとってしまったり、お父さんと、つばさくんが大事に少しずつ食べていた、大きな大きなビンにはいったジャムを全部食べてしまったりするのはびょう気だからです。ばあばがびょう気になってから、つばさくんは、ばあばといっしょにいるのがいやになってしまいました。でもばあばがわすれたくてわすれているのではないということに気づいて、これからは、「びょう気だからやさしくしよう」と思いました。

わたしにもおじいちゃんとおばあちゃんがいます。やさしいじいじとばあばです。じいじは、なん回でもやさしく教えてくれます。ばあばは、手作りの野さいでおいしいごはんを作ってくれます。もしいつか、じいじかばあばが「わすれてしまう」びょうきになってしまったら、つばさくんのことを思い出して、やさしくしてあげようと思います。